

# 日本画

応募点数	50点	招待作品	10点
入賞点数	7点	展示点数	60点
入選点数	43点	◎は移動展出品作品	

(総評) 日本画部門は一般38点、会員12点、招待10点で、出品者は31歳から92歳までと幅広い年齢層からご応募があり、それぞれの作者が持つ技術を尽くし、思いが込められた意欲作が多くありました。

展示されている作品は和紙に岩絵具、水干、染料、金箔などの金属箔等の日本画材を用い、膠（にかわ）を接着剤として描く技法が用いられています。日本画用材料は決して扱いやすいものではなく、また、その技法を習得するのは簡単ではありません。特に膠は日本画には欠かせない画材で、膠が強すぎるとひび割れや、発色が悪くなる原因になり、少ないと剥落しやすくなります。この膠加減一つで色合い、日本画ならではの質感や描き心地の良し悪し、最終的な作品の仕上がりまで大きく影響します。種々ある日本画材の特徴を深く研究し制作に活かして欲しいと思います。

入賞作品の選考にあたっては、審査員10名が厳正かつ慎重に投票を繰り返し決定しました。

入賞作品はいずれもテーマが明確で、感性、技量、画材の扱いも巧みだと感じました。その一方で、大胆な表現による作品は前回よりも少なかったように思いました。

残念ながら賞に入らなかった作品の中にも、色彩、構成、表現、メッセージ力など魅力的な作品がたくさんありました。一生懸命描いた作品には必ず見どころ、良いところがあるものです。

コロナ禍によってオンライン、デジタル化がさらに加速している今こそ、一筆一筆に心を込めた作品を作り、発表することが求められているのではないのでしょうか。

これからも描く喜びと研鑽を一つにし、来年もオリジナリティー溢れる作品でぜひ挑戦していただきますよう期待いたします。

そして日本画出品者がさらに増えていくことを心から願っています。

(文責 福間小夜子)

## 知事賞 ◎

### す 巣ごもる

くろ だ いく こ (出雲市)  
黒 田 育 子

若者の喜怒哀楽、心の揺れ動くものを深く掘り下げ、そこに寄り添う作者の愛情を重ね合わせて描き上げた精神性の高い秀作です。

今年のコロナ禍の世相も感じとれます。

技術的には①表現力～細い目で眼鏡ごしに視線はしっかりとスマートフォンを見つめている。②構図～人物を無理なく画面に収めてバックに「物」を描き込まず人物が強調されている。③質感④色使い～共に色数を多用せず巧みである。

(文責 安部 富男)

金 賞 ④

## 群れ

しか だ すみ こ (松江市)  
鹿 田 純 子

群れ。群れを表現するのに青手ガニを持って来られたのは凄いですね。審査の最初から気になる作品でした。主役の青手ガニの表現は構図、色の使い方等とても素晴らしいですね。主役を引き立てるバックの処理に箔を使い静かに押さえ込んであります。更に赤系の色で青手ガニに対比した表現は冒険でしたでしょうが誠に心打たれる絵に仕上がっています。カニの数はもう少し多くても良かったのかなとは思いますが。今後も素晴らしい絵を期待します。  
(文責 角田 智竭)

銀 賞 ④

## 浜風

お がわ あき お (浜田市)  
小 川 明 夫

イカ干しをする漁婦が、大胆な構図で的確に描いてあります。  
画面の密度を保ちながら、日焼けした顔を大きくとらえ、イカの生干しとの対比により海で働く女性のたくましさ、やさしさ、浜風の心地よさを感じさせてくれます。  
筆の「粗・密」を生かした秀作です。  
更なる追求と精進を期待します。  
(文責 大森 幹雄)

銀 賞 ④

## 明日へ

の づ けい こ (松江市)  
野 津 恵 子

題名の表すように、明日へと、未来へと託す希望や夢のようなものを感じさせる作品となっています。背景の桜の花が始まりを感じさせ、淡い色調で全体がまとめられています。人物全体に配された淡い黄色の絵の具が画面に光を感じさせています。母子像はテーマで描いていかれるのでしょうか。更なる展開を楽しみにしております。  
(文責 東野布由美)

銅 賞 ④

## 廃材置場の夕べ

あり た ひで こ (出雲市)  
有 田 秀 子

昼間に通りがかる廃材置き場。錆びた釘や、風雨に晒された木目に気づいても、深い感動は起きていなかったかも知れません。  
日が暮れ始めた時刻、宵待草が花卉を開き、その廃材をほんやり浮かばせていきます。この時、宵待草は、主役になったのです。  
廃材置場と薄墨の入った空が、生き生きとしたモチーフとして落ち着いています。黄色の花に、もう少し変化をつけたら、画面に魅力が増すのではないかと思います。すばらしい情景に出会われたと、思いました。  
これからも、沢山の感動に触れられ、作品づくりをして戴きたいと思います。  
(文責 村上ななほ)

## 銅賞 ④

見<sup>み</sup>つめる先<sup>さき</sup>に

飯塚眞治 (出雲市)

柔らかな色調で描かれたとてもインパクトのある作品です。

小さな女の子の意地っぱりな表情、手の動き、両足を踏んばった可愛らしい姿に強く惹きつけられます。

何枚か重ね着をしてふくらんだ上着、固太りの足などデッサンも正確で、落ち葉を配した画面構成は動きがあります。

少女が見つめる先には明るい未来が待っていることを暗示しているようです。

(文責 清水 誠子)

## 銅賞 ④

準<sup>じゆん</sup>備<sup>び</sup>完<sup>かん</sup>了<sup>りょう</sup>!!

福間美智子 (出雲市)

独特なマチエールは、作者の独自の感性ですばらしいと思います。全体的にインパクトがあり、目をひく作品でした。

古びた農機具がバックとマッチしており、力強さを感じます。使い続けてこられた農機具に対する愛着など、作者の思いが伝わってきます。

(文責 広田あつ子)

## 入 選

	題 名	氏 名	備 考
	夏の日	恩 田 ゆき子 (奥出雲町)	日本画協会協会賞
	魅せられて、黄色い牡丹	石 橋 陽 子 (松江市)	日本画協会協会奨励賞
	日沈の宮	稲 村 正 志 (出雲市)	日本画協会協会奨励賞
④	夜の海・午前2時	梅 野 美和子 (益田市)	日本画協会協会奨励賞 初入選
	スモークツリーの恋	佐 藤 さゆみ (出雲市)	
	夏の終り	勝 部 早 苗 (出雲市)	
	中秋	経 種 一 生 (雲南市)	
	私の松江	佐々木 勉 (松江市)	
	晩夏	小 谷 紘 子 (安来市)	
	華やかに	杉 原 瑩 子 (松江市)	
	潮流	岸 井 二 美 (松江市)	
	蒼い時	井 上 櫻 子 (松江市)	
	母が好きだった樹	阿 部 明 美 (松江市)	
	夏	菅 野 あい子 (松江市)	
	咲くまでは	荒 川 ゆかり (安来市)	
④	オロチカツラの木	古 森 和 代 (浜田市)	
	すぐるくん	川 島 涼 子 (出雲市)	
④	断魚溪	狭 間 壽 幸 (浜田市)	日本画協会新人賞 初入選
④	花	大 石 照 子 (益田市)	
④	継承	村 岡 万 子 (山口県)	

題名	氏名	備考
白猫白雪	松井京子(松江市)	初入選
父と母	津森祐樹(鳥取県)	
冬の花	宇田川京子(奥出雲町)	
福寿草	塚本治代(奥出雲町)	
清花	目黒誠津子(奥出雲町)	
一刻賛歌	千原優子(奥出雲町)	
黄金色の刻	引野春雄(出雲市)	
里山浪漫	榊原真(松江市)	
臨月	曳野みどり(松江市)	
未来を見つめて	原真由美(出雲市)	
救世観音	花井吉郎(松江市)	
⑩ 白日	須谷幹子(出雲市)	会員 日本画協会会員賞
⑩ 晩夏	松原安杏(松江市)	会員 日本画協会会員奨励賞
育む	米原ひろこ(出雲市)	会員 日本画協会会員奨励賞
春を舞う	伊藤圭子(出雲市)	会員
杉叢	清原茂治(松江市)	会員
⑩ 愛しき日々	児玉美智子(益田市)	会員
下弦の月	内藤章江(松江市)	会員
春近し	原邦子(出雲市)	会員
「ほら」あぶないよ	舟木美代子(松江市)	会員
仰ぐ	松下純子(出雲市)	会員
白樺の丘で	森脇純子(出雲市)	会員
⑩ 再生	渡麻矢(大田市)	会員

## 招待

題名	氏名	備考
くにびきの砂洲	福間小夜子(出雲市)	
耀	安部富男(松江市)	
鳴戸	大森幹雄(出雲市)	
日の沈む聖地出雲Ⅱ	小村俊美(出雲市)	
今朝の秋	清水誠子(出雲市)	
中海明ける	角田智竭(松江市)	
思い愛し	東野布由美(出雲市)	
映る	広田あつ子(安来市)	
赤い花片	村上ななほ(松江市)	
華燭	吉岡珠恵(松江市)	